

核兵器NO! あなたの署名が世界を変えます

核兵器禁止条約は、国際政治の焦点

第66回国連総会の軍縮議論は、10月3日から第一委員会が始まりました。昨年のNPT（核不拡散条約）再検討会議の結論を受け「核兵器のない世界の平和と安全」のための「枠組づくり」をどのように実現するかが課題です。

第一委員会の冒頭、セルジオ・ドゥアルテ国連軍縮問題担当上級代表は「軍縮にも民主主義革命と法の支配が及んでいる」と述べ、「ゲンスイキョウ」の名前をあげて私たちが昨年国連に提出した700万の署名を高く評価し、各国政府はこうした市民社会の要請にこたえて、軍縮によって平和を開くよう呼びかけました。

いま世界では、核兵器禁止条約が国際政治の大きな焦点になっていきます。

私たちは核兵器禁止条約の交渉開始を求める国際署名「核兵器全面禁止のアピール」署名をとりこんでいきます。あなたの署名が国連での議論の後押しになります。

禁止条約に消極的な日本政府

第一委員会では、核軍縮についての決議案がいくつか採択されています。

日本案は、昨年の「核兵器の全面的廃絶に向けた共同行動」とタイトルが同じで、内容も核兵器禁止条約を求めている点でほとんど変わっていません。同じアメリカの同盟国のノルウェーが、「多国間交渉を進める」決議を提出し、核兵器禁止の交渉へと努力しているのとは対照的です。

マレーシア提案の核兵器全面禁止条約の交渉開始や、核兵器による威嚇や核兵器の使用禁止などを求める決議案は、昨年よりも賛成する国が増えました。しかし、日本政府は昨年と同様に棄権しました。

この決議案は12月の総会で改めて採決にかけられます。日本政府にこれまでの態度を改め、マレーシア案に賛成するよう求めましょう。

核兵器をなくすのは、みなさんの署名

国連総会議場の入口に、核兵器禁止条約を求める署名の「ツイントタワー」が設置されています。これまで平和市長会議や日本原水協が提出してきた署名がここに展示されています。署名は、ここを出入りする政府代表に、市民の声を知らせていきます。

日本原水協の国連要請代表団は、第一委員会議長とドゥアルテ上級代表に、核兵器禁止のアピール署名102万9031筆を手渡しました。第一委員会では、「署名は、政府の政治的意思をつくる重要な活動」として歓迎されました。あなたの署名は世界を変え、核兵器をなくす力になります。どうぞ署名にご協力ください。



原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>